



コミュニティ・スクール

雄踏中 CS 通信

令和5年11月6日

第1号

浜松市立雄踏中学校

本校は、平成30年度からコミュニティ・スクールの推進モデル校となり、令和2年度に本格的な実施が始まりました。そして、令和5年度も、学校教育目標の具現化を目指して、年4回の学校運営協議会を通して地域の代表である委員の方々と熟議をしていきます。

生徒や保護者のみなさん、地域の皆様に、本校のコミュニティ・スクールの活動について知っていただくために、『雄踏中 CS 通信』を発行します。雄踏中学校のイメージキャラクターである「ゆうくん」をナビゲーターとして紹介していきます。

○「コミュニティ・スクール」とは？

コミュニティ・スクール（CS）とは、学校運営協議会を設置している学校のことです。学校運営協議会には、保護者や地域のみなさんに参加してもらい、その声を学校運営に生かして、雄踏中ならではの「特色ある学校づくり」を進めていきます。

○ 雄踏中学校運営協議会の組織

令和5年度学校運営協議会委員のメンバーをご紹介します。

会長	藤田 源大さん
副会長	藤田 雅光さん
委員	山内 勝己さん
委員	坂下 正泰さん
委員	関谷みゆきさん
委員	坂田 尚久さん
委員	河瀬 俊夫さん
委員	渥美香由里さん
委員	古橋由美子さん



▲委員のみなさんです。よろしくお願いします。
後列左から 河瀬さん、坂下さん、山内さん、雅光さん、源大さん、坂田さん
前列左から 渥美さん、古橋さん、関谷さん

○ コミュニティ・スクールで期待される効果

（浜松市教育委員会「浜松市でコミュニティ・スクールが始まります！」より）

○子どもたちにとっては

- ・学校だけでは実現できない豊かで多様な体験や学びが充実します。
- ・多くの人と関わることにより、夢と希望を持つことができます。
- ・地域の担い手としての自覚が高まります。

○教職員にとっては

- ・地域のみなさんの理解と協力を得た学校運営が実現します。
- ・地域のみなさんの協力により、教育活動の充実と子供と向き合う時間の確保につながります。

○保護者にとっては

- ・保護者同士や地域のみなさんとの人間関係が構築できます。
- ・学校や地域に対する理解が深まります。
- ・地域の中で子供たちが育てられているという安心感があります。

○地域のみなさんにとっては

- ・経験を生かすことで、子どもや地域の役にたっているという充実感につながります。
- ・学校を通して多くの人と交流することができます。
- ・学校と連携・協働して子供たちを育むことにより、地域の活性化につながります。



【第1回学校運営協議会】5月23日(火)14:30～

① 学校経営方針の承認

雄踏中学校学校教育目標『豊かな心を持ち 未来を創造する生徒』とグランドデザインについて、校長が説明しました。その後、委員の皆様から質問や御意見をいただきました。特に、タブレットを活用したICT教育と情報モラルについて熟議され、最後には、学校経営方針と今年度の教育活動について、満場一致で承認されました。

② 雄踏中学校いじめ未然防止対策基本方針の確認

雄踏中いじめ未然防止対策基本方針について、生徒指導主事が説明しました。その後、委員の皆様からたくさんの御意見をいただきました。教員が生徒の様子をよく観察することや子どもと地域・家庭での関わり方について、熟議されました。いじめについては、どの委員も関心が高く、今後の協議会でも話し合いをしていきます。

③ 活動内容及び重点項目の検討

事務局より昨年度の成果と課題について説明があり、本年度の活動内容について確認しました。防災教育の充実や職場体験学習の支援について意見が出されました。

【第2回学校運営協議会】10月2日(月)14:30～

① 授業参観

全学級の授業を公開しました。タブレットを活用したICTによる授業、少人数グループでの対話的な授業、自分の考えを発表するプレゼン授業、ALTとの対話授業など、どの生徒も意欲的に学習に取り組む姿が見られました。

② 学校の取組と2学期に期待すること

雄踏中学校の1学期の取組について、動画にて紹介しました。その後、委員の皆様から授業参観の感想をいただきながら、学校教育目標を達成するための課題について、熟議しました。楽しそうに学習する生徒の姿、ICT教育の取組、授業中の生徒の発言や教師との温かな雰囲気についてお褒めの言葉をいただきました。一方、書くときの姿勢について心配の声があがりました。

③ 2学期の学校行事について

本校の目玉である「1年生防災宿泊訓練」について、説明しました。昨年度の課題を踏まえ、本年度は新たに消防署と連携した消火訓練を行います。また、昨年同様、地域やPTAからボランティアを募り、炊き出し活動を行います。生徒が自分の命を積極的に守ることの大切さを学べる活動になるよう、目的やその内容について確認しました。

